

持続可能な企業を目指そう！！

～カーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向けて～

カーボンニュートラル・脱炭素社会実現ってなに？

「カーボンニュートラル」とは、温室効果ガスの排出を全体で「実質ゼロ」にするということです。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減・吸収作用の保全及び強化をする必要があります。地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の「実質ゼロ」を目指す社会「脱炭素社会」に向けて、企業、家庭、そしてひとりひとりが身近に始められることから取り組んでいきましょう。

取り組み事例

再生可能エネルギーを利用しましょう！

現在ご利用の利用料金とほぼ同等に自然エネルギー由来の電気を利用することができる場合があります。日々利用する電気から取り組みを行いきましょう。

環境に配慮した資材を使いましょう！

脱プラスチック素材や再生プラスチック素材を積極的に活用しましょう。

LED照明にしましょう！

LED照明は、一般照明と比べて長寿命・省電力であり、40形蛍光灯の場合、LED照明化により、およそ71%のCO2排出量の削減が可能となり、廃棄する際も蛍光灯に比べ容易となります。

従業員ひとりひとりに環境に配慮した意識を持ってもらいましょう！

印刷物は両面印刷にする、資材を無駄に使わない、エアコンのフィルターを掃除し、設定温度を高くするなど従業員ひとりひとりの意識を変えていきましょう。

ビジネスチャンス

カーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向けた行動は、企業にとってもメリットがあり、そして、消費者も持続可能な取り組みに関心が高まっております。企業からの取り組みを推進していきましょう！

1. 優位性の構築

～競争力を強化し、売上・受注を拡大しましょう～

徐々にサプライヤーに対して排出量の削減を求める傾向が強まりつつあります。事業活動に伴う排出だけではなく、原材料・製品の使用などの排出量の削減も目標として示すことを求めている傾向があります。そのため、脱炭素経営は自社製品の競争力確保・強化に今後ますますつながっていくものと考えられております。

2. ランニングコストの低減・削減

～非効率なプロセス・設備を見直しましょう～

エネルギーを多く消費する非効率なプロセスや設備の更新を進めていく必要があります。それに伴い光熱費・燃料費等の低減・削減に繋がります。また、再生可能エネルギーについても追加負担なく実施できる場合もございます。

3. 自社のPR

～知名度・認知度を向上させましょう～

身近に始められる取り組みをはじめ、事業を通じて積極的に推進している企業は地域の媒体やメディアに取り上げられることがあります。是非、取り組みを推進して自社のPRをしましょう。

4. 社員のモチベーション向上・人材確保

～自社内で意識統一をして社員全員で取り組みを行いきましょう～

カーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向けた取り組みは、環境問題への関心の高い人材からの共感を得ることができ、意欲ある人材確保に繋がることが期待できます。資金的な面だけでなく、人材の面からも持続可能な企業として確立しましょう。

5. 融資・資金調達

～取り組みを活かして財務面を強固にしましょう～

金融機関からの融資・資金調達の際に、環境問題や地球温暖化への対策・取り組みを加味し、条件を優遇する取り組みも行われております。

公益社団法人東京青年会議 事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-14-3 青年会議所会館 2F

TEL 03-5276-6161/FAX 03-5276-6160

<https://tokyo-jc.or.jp/>



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人東京青年会議所